

湛水直播管理情報（第1号）

～ 湛水表面直播（鉄コーティング）～

平成30年4月13日
アルプス農協管内農業技術者協議会

1. 種子の準備

- ・コーティング直後の種子は、発熱による発芽率の低下の危険があるので、すぐに苗箱等に薄く広げ、十分に乾燥させてから保管しましょう。
- ・播種前に必ず種子の発芽率を確認しましょう。



2. 圃場の準備

- ・畦畔からの漏水を防止し除草剤の効果を高めるため、畦塗りを行いましょう。
- ・圃場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生し、生育不揃いの原因になります。**耕起前に田面の高低差を直す**とともに、**耕起～砕土・整地の作業は移植より丁寧**に行いましょう。
- ・代かきは水を少なめに行い、稲株や雑草をしっかりすき込みましょう。また、練りすぎに注意し、播種作業に適した硬さに仕上げましょう（表1参照）。

表1 代かき時期の目安

土質	時期の目安
砂壤土	播種3日前程度
壤土	播種5日前程度

3. 基肥量の目安（コシヒカリ）

- ・倒伏防止のため、**移植栽培よりチッソ成分で1.0～1.5kg/10aの減肥を目安**に施用しましょう。

表2 施用量の目安

土壤区分	肥料名	施用量
砂壤土	LPss 直播コシヒカリ (N-P-K=21-14-14) または 鉄コート直播コシヒカリ専用 (N-P-K=22-5-20)	32kg/10a 程度
壤土・黒ボク		28kg/10a 程度
粘質土		23kg/10a 程度

鉄コーティング直播は播種深度が浅く、他の播種方式より倒伏に弱い傾向があるので、過剰施肥に注意！



4. 播種

- ・適正な播種作業により、**目標苗立本数 40～60 本/m²**（12～18 本/m）を確保しましょう。

(1) 播種適期と播種量

表3 播種の目安

播種適期	4月25日～5月10日
播種量	乾粒で 3.0kg/10a 程度 (コーティング済み種子で5kg程度)



圃場の硬さにあわせて、フィットセンサダイヤルを調整しましょう。

(2) 播種時の土の硬さ

播種時の圃場の硬さは、**種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度（図1）**としましょう。

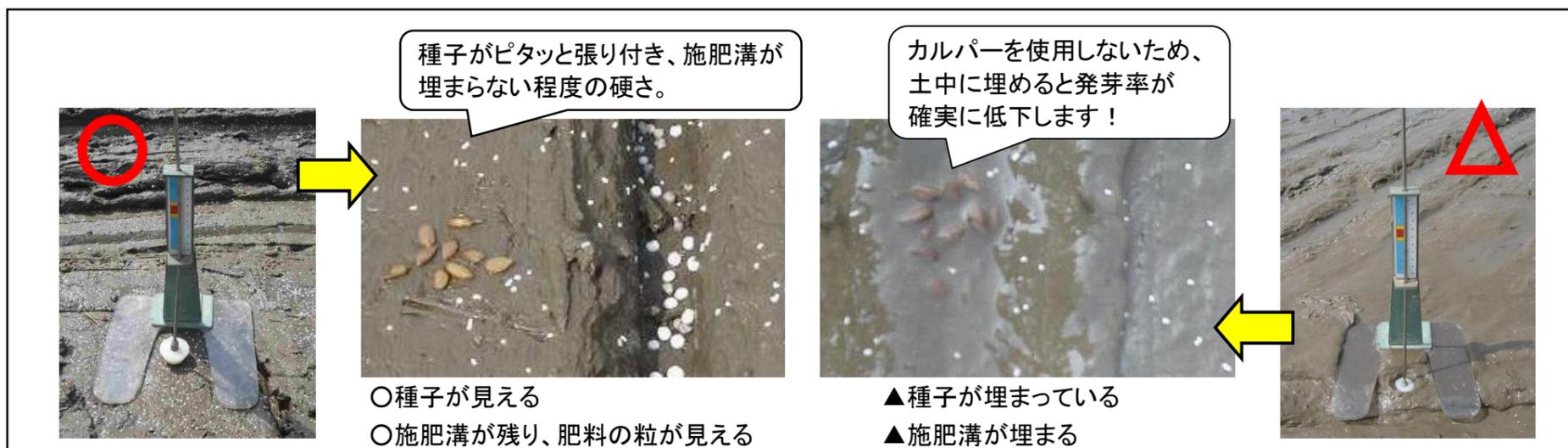
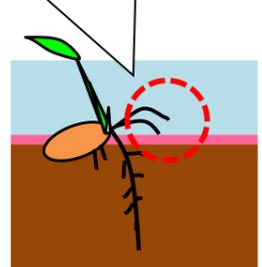


図1 鉄コーティング種子播種時の土壤硬度の目安

5. 雑草防除

鉄コーティング直播では出芽苗立ちまで時間がかかるため、「**初期剤＋体系是正剤**」の体系で除草しましょう。

鉄コ直播は、種子が土壌表面にあるため、根が露出しやすく、薬害のリスクが高い！



<散布手順>

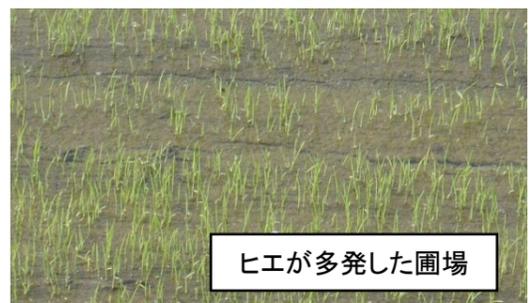
- ① 播種同時または播種直後に必ず初期除草剤を散布。
- ② 薬害回避のため、2回目の除草剤（体系是正剤）は、**イネ2葉期（根が土壌に貫入する）頃**に散布しましょう。

表4 除草剤一覧

	除草剤名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
① 初期剤	プレキープ1キロ粒剤	播種時、または播種直後～ノビエ1葉期 (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a	湛水散布	1回
	プレキープフロアブル		500mℓ/10a		
② 体系是正剤	ビッグシュアエース1キロ粒剤	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a		1回
	サラブレッドRXフロアブル	イネ1.5葉期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	500mℓ/10a		1回
	バッチリ1キロ粒剤	イネ出芽揃期～ノビエ2.5葉期まで (ただし収穫90日前まで)	1kg/10a		1回

【ノビエの発生が極めて多い場合】

初期剤を散布した後、初中期一発除草剤を散布するまでの間にヒエが多発した場合は、**クリンチャー1キロ粒剤(播種後10日から使用可能)**を散布しましょう。



ヒエが多発した圃場

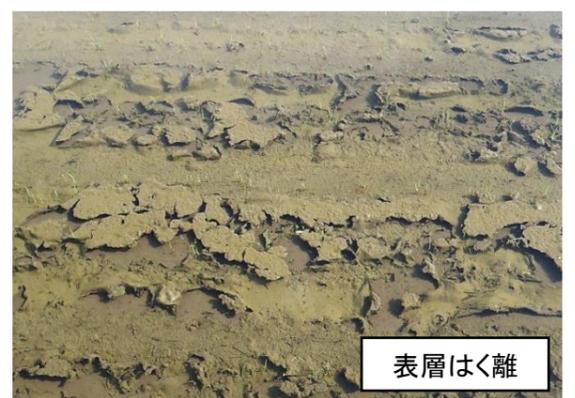
6. 播種時・播種後の水管理

・出芽促進と、初期除草剤の効果を高めるため、水管理は以下の手順で行いましょう（図2参照）。

- ① 代かき後、自然落水した状態で播種します。
- ② 播種作業が圃場の3分の2程度終わった頃にゆっくり入水します。
- ③ 播種終了後、5～7日は水深5cm程度の湛水管理を行います。
- ④ 自然減水した後は飽水管理とし、ヒタヒタ水の状態にして出芽させます。
- ⑤ 出芽後もイネ1葉期まで飽水管理を続け、その後入水します。

※スズメが飛来した時は、ただちに湛水して被害を防止しましょう。

※**表層はく離**（表土が膜状に浮き上がる現象）が発生したら、田干しを行います。



表層はく離

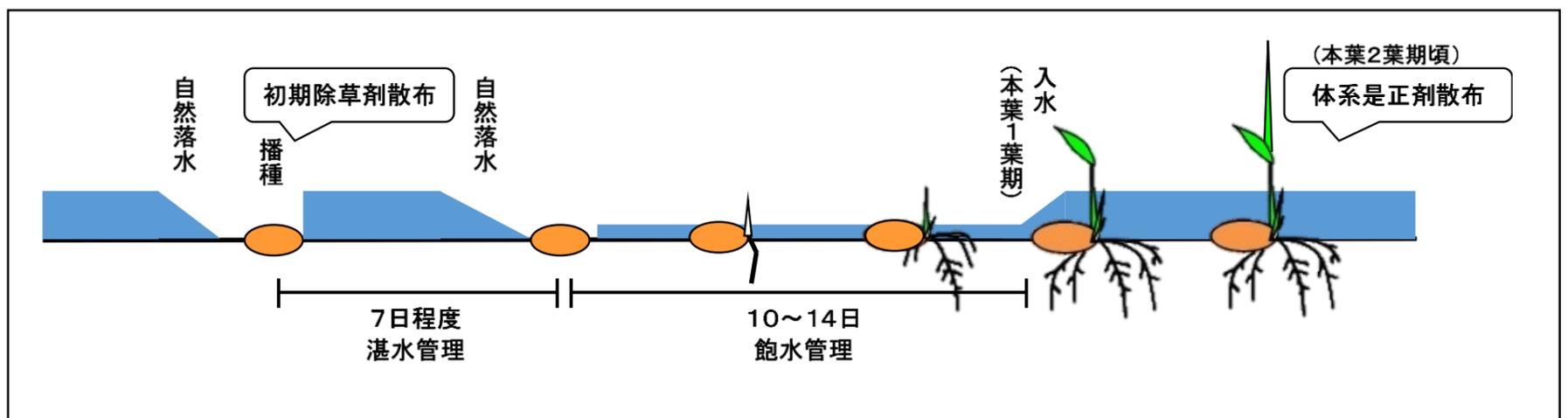


図2 播種後の水管理と除草剤散布のイメージ